

三鷹のこれからの教育を考える研究会 中間報告のポイント

本中間報告は、三鷹教育・子育て研究所 三鷹のこれからの教育を考える研究会（座長：後藤彰日本体育大学教授）の令和2年度における議論を取りまとめたもの。今後さらに具体化に向けた議論を深め、令和3年9月末までに最終報告をとりまとめる予定。

自らの幸せな人生とより良い社会の創造 （個人と社会のウェルビーイングの実現）

主体的に「人間力」「社会力」を発揮

【一人ひとりを大切にする教育】
個別最適な学び・協働的な学び

【一人ひとりが大切にされる環境整備】
組織文化・教職員・施設・学校生活

一人ひとりを大切にする教育

- 個別最適な学びの実現
- 協働的な学びの深化
- 新たな学びにおけるベスト・ミックス（最適な組み合わせ）の追究
- 支援を必要とする子どもたちへのきめ細かな対応

一人ひとりが大切にされる環境整備

- 認め合い、信頼関係のある学級・学校・学園経営
- 教職員の幸せ（ウェルビーイング）の実現
- 誰もが安全・安心・快適に学べる学校施設・設備の整備
- 子どもたちの健康な心身を育むための学校生活の見直し

学校とコミュニティを結ぶCS委員会の更なる充実

- 研修の充実
- 自主的・自律的な運営の推進
- 地域学校協働本部機能の強化

スクール・コミュニティの創造に向けた取組

- 様々なコミュニティや三鷹に関わる多様な主体との連携の拡大
- コーディネート機能の強化
- オンライン・スクール・コミュニティの形成

スクール・コミュニティの創造を加速する学校のあり方

- 地域の共有地（コモンズ）への移行
- 「三部制」による学校運営

非常時における学校の有する諸機能の発揮

具体的取組・キーワード

個別指導計画／個別学習計画
パーソナル・ポートフォリオ
AIドリルでの個別学習
データに基づく改善

地域資源の活用・地域で学ぶ
探究的な学び ドラマ教育
海外の子どもたちと学ぶ

オンラインとオフライン
興味開発と能力開発

子どもたちと向き合うための
時間の最大化
地域と連携した学校部活動
「先生たちの文化祭」
授業づくりへの助言

バリアフリー・ユニバーサルデザイン
感染症対策設備
画面の投影・表示装置
ガンバリズム（努力至上主義）からの脱却
くつろぎの空間 居場所カフェ
身体に優しい机・椅子
ロボット掃除機

デジタル化による荷物の軽減
文具の備え置き おやつ・昼寝
魅力ある大人の学び場・成長の場

人財育成の場
スクール・コミュニティ推進委員会

多様で豊かな「新しい放課後」
学童・子どもクラブ・地域未来塾の一体化
地域みんなの活動拠点
3Dプリンターなどの新しい設備
複合化施設

複合災害を想定した拠点機能の
早急な確保



学びと活動
の循環

学校とコミュニティの結節点
コミュニティ・スクール委員会

学校や子どもたちを「縁」とした「つながり」
スクール・コミュニティ

連携の拡大
人財の輩出

三鷹の重層的・複層的で
多様なコミュニティ

施策の推進方策など

- 全国への発信・共有
- 7つの学園の「競争」から「共創」への転換
- これまでの枠組みにとらわれずに挑戦
- 可能なものから実現に向けて取り組む